

入園準備のために、触れたことがなかったミシンに挑戦して完成したバッグ。「一人じゃ困っていたことが、みんなが集まるとできるんです」と船本由佳さん（左端）

服飾デザイナーの男性が講師となり、「まま力の会」のグループによって行われた「ミシンの会」



将来、社会経済の根幹を揺るがすと、
少子化対策が緊急の課題となっています。

では、今、このとき、この瞬間……。

実際に子どもを産み育てているママたちの「子育て生活、はどうなっているのでしょうか。

山崎洋子さんが、子育てママに話を聞き、

「立ち上げなければいけないかった、ママたちの活動取材しました。」

子育ては

地域カフェから！

「まだなにも経験しないうちから、結婚も子育てもオワコンだと決めつけてる若い人が、いまけっこういるらしいんですよ」

と、教えてくれたのは友人のフリー！キャスター、船本由佳さんだった。NHKなどで活躍し、いまでも三才児と0才児の子育てに追われながら仕事を続けている。

けど、オワコン？ なにそれ？
「終わったコンテンツ。頑張ってる価値はないと」

はあ、なるほど……。少子化問題が深刻なわけだ。

私が若かった頃、ウーマンリブ運動

が世界的に台頭し、仕事も家事育児も男女平等であるべきと女達は主張した。が、時は高度成長期。男達は猛烈サラリーマンとなり、家事育児は、仕事を持っていようがいまが、女性が担うしかなかった。育児休業制度はまだない。子どもを預けて働く母親に、世間の目は冷たかった。社会参加の趣味だの口にも出せなかった。

でもいまは違う。男女雇用機会均等法もあるし、育休も使える。待機児童ゼロで話題になっただけあり、横浜市は子育て支援も幅広い。子どもを預けたり預かったりというシステムのある子育て拠点が、各区にひとつずつ。さ